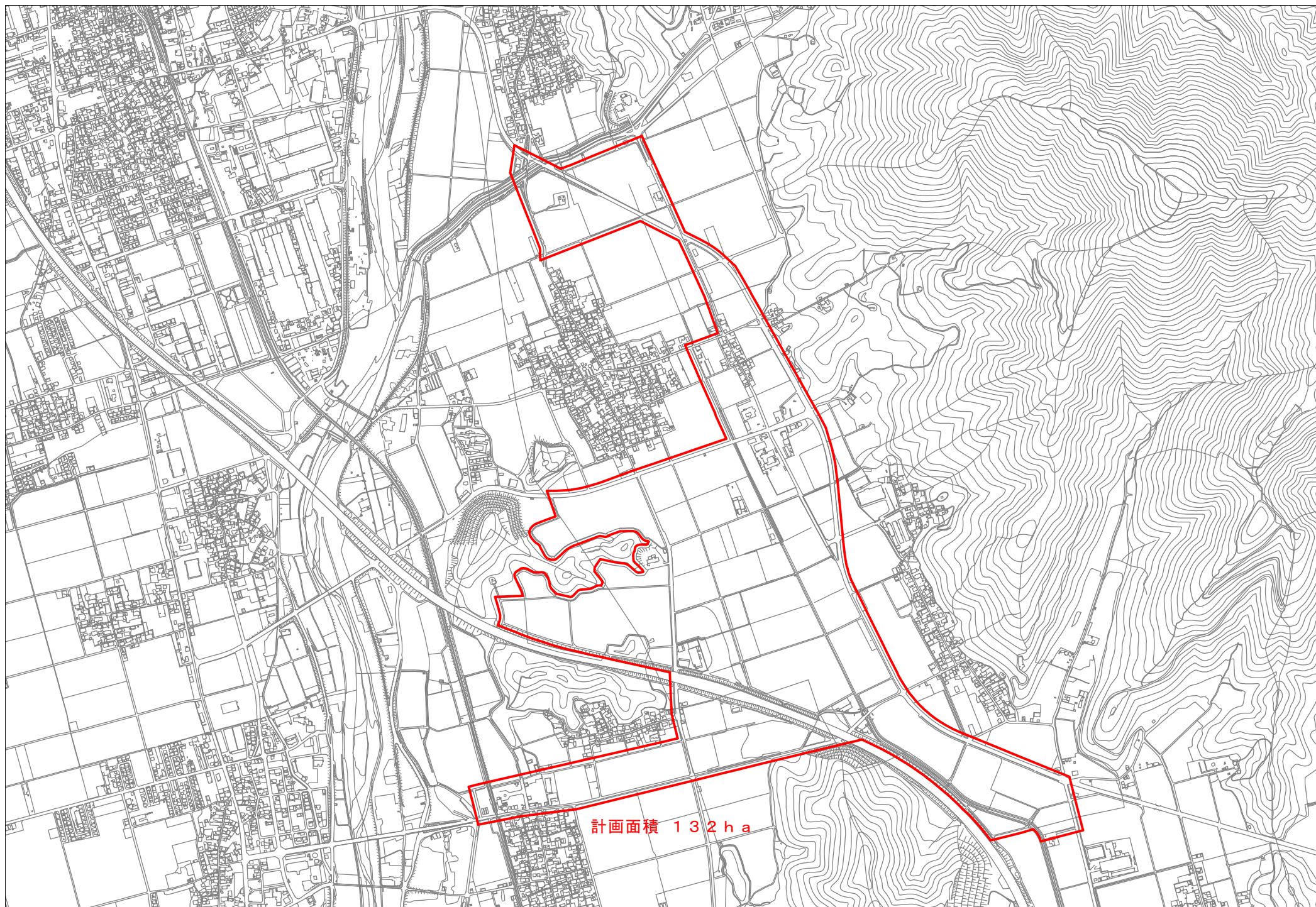


令和4年度 長下施委第37号

湖北東部地域公共下水道接続  
実施設計（基本設計）業務委託

仕 様 書

長浜市下水道事業部下水道施設課



計画面積 132ha

# 下水道管渠実施設計業務委託標準仕様書

(基本設計)

## 第1章 総 則

### 1.1 業務の目的

本委託業務（以下業務という。）は、本仕様書に基づいて、特記仕様書に示す委託対象地域の工事を実施するために必要な設計図、計算書、設計書等の作成を行うことを目的とする。

### 1.2 一般仕様書の適用範囲

業務は、本仕様書に従い施行しなければならない。ただし、特別な仕様については、特記仕様書に定める使用に従い施行しなければならない。

### 1.3 費用の負担

業務の検査等に伴う必要な費用は、本仕様書に明記のないものであっても、原則として受注者の負担とする。

### 1.4 法令等の遵守

受注者は、業務の実施に当り、関連する法令等を遵守しなければならない。

### 1.5 中立性の保持

受注者は、常にコンサルタントとしての中立性を保持するよう努めなければならない。

### 1.6 秘密の保持

受注者は、業務の処理上知り得た秘密を他人に漏らしてはならない。

### 1.7 公益確保の責務

受注者は、業務を行うに当たっては公共の安全、環境の保全、その他の公益を害することの無いように努めなければならない。

### 1.8 許可申請

受注者は、工事に必要な許可申請（占用許可等）に関する事務に必要な図面作成を遅滞なく行わなければならない。

### 1.9 提出書類

(1)受注者は、業務の着手及び完了に当たって、**発注者**の契約約款に定めるものの外、下記の書類を提出しなければならない。

(イ)着手届 (ロ)工程表 (ハ)管理技術者届 (ニ)職務分担表 (ホ)完了届  
(ヘ)納品書 (ト)業務委託料請求書等

なお、承認された事項を変更しようとするときは、そのつど承認を受けるものとする。

### 1.10 管理技術者及び技術者

(1)受注者は、管理技術者及び技術者をもって、秩序正しく業務を行わせるとともに、高度な技術を要する部門については、相当の経験を有する技術者を配置しなければならない。

(2)管理技術者は、総合技術監理部門技術士（下水道）、技術士（下水道）又は下水道法に規定された資格を有するものとし、業務の全般にわたり技術的監理を行わなければならない。

(3)受注者は、業務の進捗を図るため、契約に基づく必要な技術者を配置しなければならない。

#### 1.11 工程管理

受注者は、工程に変更を生じた場合には、速やかに変更工程表を提出し、協議しなければならない。

#### 1.12 成果品の審査及び納品

(1)受注者は、成果品完成後に **発注者** の審査を受けなければならない。

(2)成果品の審査において、訂正を指示された箇所は、ただちに訂正しなければならない。

(3)業務の審査に合格後、成果品一式を納品し **発注者** の検査員の検査をもって、業務の完了とする。

(4)業務完了後において、明らかに受注者の責に伴う業務のかしが発見された場合、受注者はただちに当該業務の修正を行わなければならない。

#### 1.13 関係官公庁等との協議

受注者は、関係官公庁等との協議を必要とするとき又は協議を受けたときは、誠意をもってこれに当り、この内容を遅延なく報告しなければならない。

#### 1.14 証明書の交付

必要な証明書及び申請書の交付は、受注者の申請による。

#### 1.15 疑義の解釈

本仕様書に定める事項について、疑義を生じた場合又は本仕様書に定めのない事項については、**発注者**、受注者協議の上、これを定める。

## 第2章 調査

### 2.1 資料の収集

業務上必要な資料、地下埋設物及びその他の支障物件（電柱、架空線等）については、関係官公署、企業者等において将来計画を含め十分調査しなければならない。

### 2.2 現地踏査

特記仕様書に示された設計対象区域について踏査し、地勢、土地利用、排水区界、道路状況、水路状況等現地を十分に把握しなければならない。

### 2.3 地下埋設物調査

特記仕様書に示された設計対象区域について、水道、下水道、ガス、電気、電話等地下埋設物の種類、位置、形状、深さ、構造等をそれらの管理者が有する資料と照合し、確認しなければならない。

### 2.4 公私道調査

道路、水路等について公図並びに土地台帳により調査確認しなければならない。

### 2.5 在来管調査

在来管調査は、2.3地下埋設物調査で行う範囲を超えるであり、マンホールおよびますの老朽度、堆積物の状況、破損の状態、構造、底高等現地作業を伴うものをいう。当該調査は別途計上とする。

## 第3章 設計一般

### 3.1 打合わせ

- (1) 業務の実施に当たって、受注者は係員と密接な連絡を取り、その連絡事項をそのつど記録し、打合わせの際、相互に確認しなければならない。
- (2) 設計業務着手時及び設計業務の主要な区切りにおいて、受注者と発注者は打合わせを行うものとし、その結果を記録し、相互に確認しなければならない。

### 3.2 設計基準等

設計に当たっては、発注者の指定する図書及び本仕様書第8章準拠すべき図書に基づき、設計を行う上でその基準となる事項について発注者と協議の上、定めるものとする。

### 3.3 設計上の疑義

設計上疑義の生じた場合は、係員と協議の上、これらの解決にあたらなければならない。

### 3.4 設計の資料

設計の計算根拠、資料等はすべて明確にし、整理して提出しなければならない。

### 3.5 事業計画図書の確認

受注者は、第2章調査の各項の調査等と併せて、設計対象区域にかかる事業計画図書の確認をしなければならない。

### 3.6 参考資料の貸与

発注者は、業務に必要な下水道事業計画図書、測量、土質調査資料、在来管資料、道路台帳、地下埋設物調査、下水道標準構造図等の資料を所定の手続によって貸与する。

### 3.7 参考文献等の明記

業務に文献、その他の資料を引用した場合は、その文献、資料名を明記しなければならない。

## 第4章 設計細則（基本設計）

### 4.1 設計図の作成

主要な設計図は、下記により作成することとし、図面完成時には発注者の承認を受けなければならない。

#### (1) 位置図

位置図（ $S = 1/10,000 \sim 1/30,000$ ）は地形図に設計区域又は設計区間を記入する。

#### (2) 区画割施設平面図

区画割施設平面図（ $S = 1/2,500$ ）は、事業計画において作成した区画割図面に基づいて枝線の区画割を行い、設計区域又は設計区間の区間番号、形状、管径、勾配、区間距離、区画の面積及び幹線・排水区又は処理区等の名称を記入すること。

#### (3) 縦断面図

縦断面図（ $S = \text{縦}1/100、\text{横}1/2,500$ ）は、区画割施設平面図と同一記号を用いて次の事項を記入すること。

管きよの位置、平面図との対照番号、形状、管径、勾配、区間距離、地盤高、管底高、土被り及び河川、鉄道、国道等の位置と名称、位置・形状、寸法等及び河川の現在と計



画の底高、高水位並びに幹線、処理区等の名称を記入すること。

#### (4) 流量計算書

流量計算書は、事業計画において作成された流量表に基づいて、管きよの断面、勾配を決定し、起終点の管底高、地盤高、土被り、流入管記号を記入すること。

#### (5) 概略構造図

概略構造図（ $S=1/50\sim 1/100$ ）は、次の要領で作成する。

発注者の下水道標準構造図によるものは作成を要しないが、次のような特殊構造のものは、縦断面図と同一記号を用いて図面を作成する。

特殊なマンホール、接続室、雨水吐室及び吐口、伏越等特に構造図を必要とするものについて概略の形状図を作成する。

### 4.2 概略工法検討

概略工法検討業務は、設計対象路線の管路布設工法（開削、推進、シールド）の選定を行うものである。ただし、箇所別詳細な工法の検討は詳細設計で行うものとする。

### 4.3 報告書

報告書は、当該設計に係るとりまとめの概要書を作成するものとし、その内容は、位置、設計の目的、調査・計画の概要、設計計画、概略工法検討等を集成するものとする。

## 第5章 照 査

### 5.1 照査の目的

受注者は業務を施行する上で技術資料等の諸情報を活用し、十分な比較検討を行うことにより、業務の高い質を確保することに努めるとともに、さらに照査を実施し、設計図書に誤りがないように努めなければならない。

### 5.2 照査の体制

受注者は遺漏なき照査を実施するため、相当な技術経験を有する照査技術者を配置しなければならない。

### 5.3 照査事項

受注者は設計全般にわたり、以下に示す事項について照査を実施しなければならない。

- (1) 基本条件の確認内容について
- (2) 比較検討の方法及びその内容について
- (3) 設計計画（設計方針及び設計手法）の妥当性について
- (4) 計算書（構造計算書、容量計算書、数量計算書、耐震設計計算書等をいう。）について
- (5) 計算書と設計図の整合性について

## 第6章 提出図書

### 6.1 提出図書

提出図書は次項により、提出しなければならない。

### 6.2 実施設計関係提出図書（基本設計）

図書名	縮 尺	形状寸法・提出部数
(1) 位置図	1/10,000～1/30,000	原図一式・白焼き2部

(2)	区画割施設平面図	1/2, 500	〃
(3)	縦断面図	縦1/100、横1/2, 500	〃
(4)	流量計算書		A 4 又は A 3 ・ 2 部
(5)	概略構造図	1/10～1/100	原図 1 式・白焼き 2 部
(6)	概略工法検討書		A 4 ・ 2 部
(7)	報告書		〃
(8)	打合せ議事録		〃
(9)	その他参考資料（地下埋設物調査資料他）		原稿一式

## 第 7 章 参考図書

### 7.1 参考図書

業務は、下記の掲げる最新版図書を参考にして行うものとする。

- (1) 発注者の下水道構造標準図
- (2) 発注者の下水道設計基準
- (3) 発注者の道路埋設標準定規
- (4) 下水道施設計画・設計指針と解説（日本下水道協会）
- (5) 下水道維持管理指針（ 〃 ）
- (6) 小規模下水道計画・設計・維持管理指針と解説（ 〃 ）
- (7) 下水道管路施設設計の手引（ 〃 ）
- (8) 下水道施設の耐震対策指針と解説（ 〃 ）
- (9) 下水道施設耐震計算例－管路施設編（ 〃 ）
- (10) 下水道推進工法の指針と解説（ 〃 ）
- (11) 下水道マンホール安全対策の手引き（案）（ 〃 ）
- (12) 水理公式集（土木学会）
- (13) コンクリート標準示方書（ 〃 ）
- (14) トンネル標準示方書（シールド工法編）・同解説（ 〃 ）
- (15) 〃 （山岳工法編）・ 〃 （ 〃 ）
- (16) 〃 （開削工法編）・ 〃 （ 〃 ）
- (17) 道路技術基準通達集（国土交通省）
- (18) 道路構造令の同解説と運用（日本道路協会）
- (19) 道路土工－仮設構造物工指針（ 〃 ）
- (20) 道路土工－擁壁工指針（ 〃 ）
- (21) 道路土工－カルバート工指針（ 〃 ）
- (22) 共同溝設計指針（ 〃 ）
- (23) 道路橋示方書・同解説（ 〃 ）
- (24) 水門鉄管技術基準（電力土木技術協会）
- (25) 改訂新版建設省河川砂防技術基準（案）同解説（日本河川協会）
- (26) 港湾の施設の技術上の基準・同解説（日本港湾協会）

# 下水道管渠実施設計業務委託特記仕様書

## 第1条 特記仕様書の適用範囲

この仕様書は「下水道管渠実施設計業務委託一般仕様書」の第1章1.1及び1.2に定める特記仕様書とし、この仕様書に記載されていない事項は、前記一般仕様書による。

## 第2条 業務の対象

- |           |   |
|-----------|---|
| (1)名 称    | 令和4年度 長下施委第37号<br>湖北東部地域公共下水道接続実施設計（基本設計）業務委託 |
| (2)位 置    | 長浜市湖北町山脇他                                     |
| (3)設計条件項目 | 別紙設計条件項目表による。                                 |

## 第3条 長浜市の発注する建設工事等における暴力団員等による不当介入の排除について（「不当介入に関する通報制度」の徹底について）

1. 受注者は、暴力団員等（暴力団の構成員及び暴力団関係者、その他市発注工事等に対して不当介入をしようとするすべての者をいう。）による不当介入（不当な要求又は業務の妨害）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うものとする。
2. 受注者は前項により通報を行った場合には、速やかにその内容を記載した通報書（別紙様式第1号）により所轄警察署に届け出るとともに、監督職員に報告するものとする。  
また、請負者は、以上のことについて、下請負人（再委託の協力者を含む）に対して、十分に指導を行うものとする。
3. 受注者は、暴力団員等による不当介入を受けたことが明らかになり、工程等に被害が生じた場合は、監督職員と協議するものとする。

## 第4条 その他

- (1)長浜市公共下水道全体計画、事業認可変更計画と整合させながら設計を行うこと。
- (2)既設管渠に接続場合の設計においては、必ず出来高を確認すること。
- (3)将来流入がある場合は、検討しておくこと。
- (4)滋賀県最新の設計指針によること。
- (5)単なる作業ではなく、受注者自身が蓄積している技術能力を十分に活用して、委託業務を完成させること。
- (6)滋賀県土木設計業務等委託必携（平成27年3月（平成30年4月一部改訂））によること。
- (7)受注者は、監督職員の指示があるまでは設計委託区域へ立ち入ってはならない。
- (8)第1回打合せ、中間打合せおよび成果品納入時には、主任技術者が立会すること。  
中間打合せは3回とするが、現場の状況に応じて変更の対象とする。



不 当 介 入〔 不当要求 業務妨害 〕 事 案 通 報 書

滋賀県長浜警察署長 様  
長 浜 市 長 様

(通報者) \_\_\_\_\_

		※ 取扱署等	滋賀県 警察署 課
請 負 者	所在地	(本社)	電話 (      )    - FAX (      )    -
		(現場事務所)	電話 (      )    - FAX (      )    -
		名 称	
		代表者 (現場事務所の代表者)	
	通報者 等	(通報者の職・氏名) 電話 (      )    -	
		(対応者) 所属会社名 電話 (      )    -	
		氏 名	
		役 職	
不当介入の 行為者	住所	電話 (      )    - FAX (      )    -	
	所属		
	役職		
	氏名		
発生日時 ・ 場所	令和 年 月 日 時 分頃		
	〔元請・下請〕(下請の場合は、現場事務所の所在地)		電話 (      )    - FAX (      )    -
工事件名			
不当介入の 内容・被害 の状況			
警察への 通報の状況		(警察への通報)    有    ・    無 (通報先警察署)    滋賀県    警察署    課 (通 報 日 時 )    令和 年 月 日 時 分頃	

注 1 第一報は、この様式に必要な事項を記入したうえ、長浜警察署刑事課あて電話で行った後、その旨を 「警察への通報状況」 の欄に記入して発注者及び長浜警察署あて送付（電子メール・FAX可）すること。

2 不当介入の行為者の名刺、提示物等の参考資料がある場合は、その写しを添付すること。

3 下請負先（再委託先）において発生した場合であっても、必ず元請負人（発注者）が聞き取り調査をして記入し、通報すること。

4 ※の欄は、警察署において記入すること。